

“楽しい”が盛りだくさん！ わいわいフェスin五所川原

3月5日、立佞武多の館隣の立佞武多広場で「わいわいフェスin五所川原」が開催されました。

同イベントは、冬期間の中心市街地のにぎわいを創出するため、五所川原商工会議所青年部が企画。

会場では、13店舗もの飲食ブース等が出店したほか、子どもたちが楽しめる棒パン・焼きマシュマロ作り体験、射的・輪投げゲームコーナーなどが設けられ、長蛇の列ができるほど好評を博していました。

また、ステージでは激辛ラーメンやかき氷の早食い競争が行われ、悪戦苦闘しながら食べ進める挑戦者に、会場内から「頑張れー！」と大きな声援が送られました。

同青年部冬フェス委員会の宮崎敬也委員長は「3年ぶりに開催できた冬のイベントで、想像以上に多くのお客さんに来ていただけてうれしい限り。今後も地域を盛り上げていきたい」と話しました。



棒パン作り体験



バルーンアートのステージショー



飲食ブース



射的ゲーム



かき氷早食い競争

今月号の表紙

〔地域医療への貢献を誓って 高等看護学院卒業式〕

今月号の表紙は、3月4日に中央公民館で行われた高等看護学院第55回卒業証書授与式の様子です。

高等看護学院は夜間定時制の専修学校で、1～2年目は准看護師としての業務を行いながら勉学に励み、3年目は実習で経験を積んで看護師を目指します。今年度は9名の卒業生が、地域医療への貢献を誓い、巣立ちました。

卒業生代表として答辞を述べた越野莉音さんは「患者さんとの関わりに支えられ、先生方や家族、仲間たちのおかげでつらいことも乗り越えることができた。本校での学びを思い出し、自分の行動に責任を持って精進し続けたい」と話しました。

また、本市出身で地元就職する船越明希さんは「学業・仕事・家庭の両立が大変だった。これからも夢に向かって努力し、患者さんに寄り添える看護師になりたい」と抱負を話しました。



答辞を述べた越野さん(前列中央)や船越さん(後列左から1人目)ら卒業生たち